

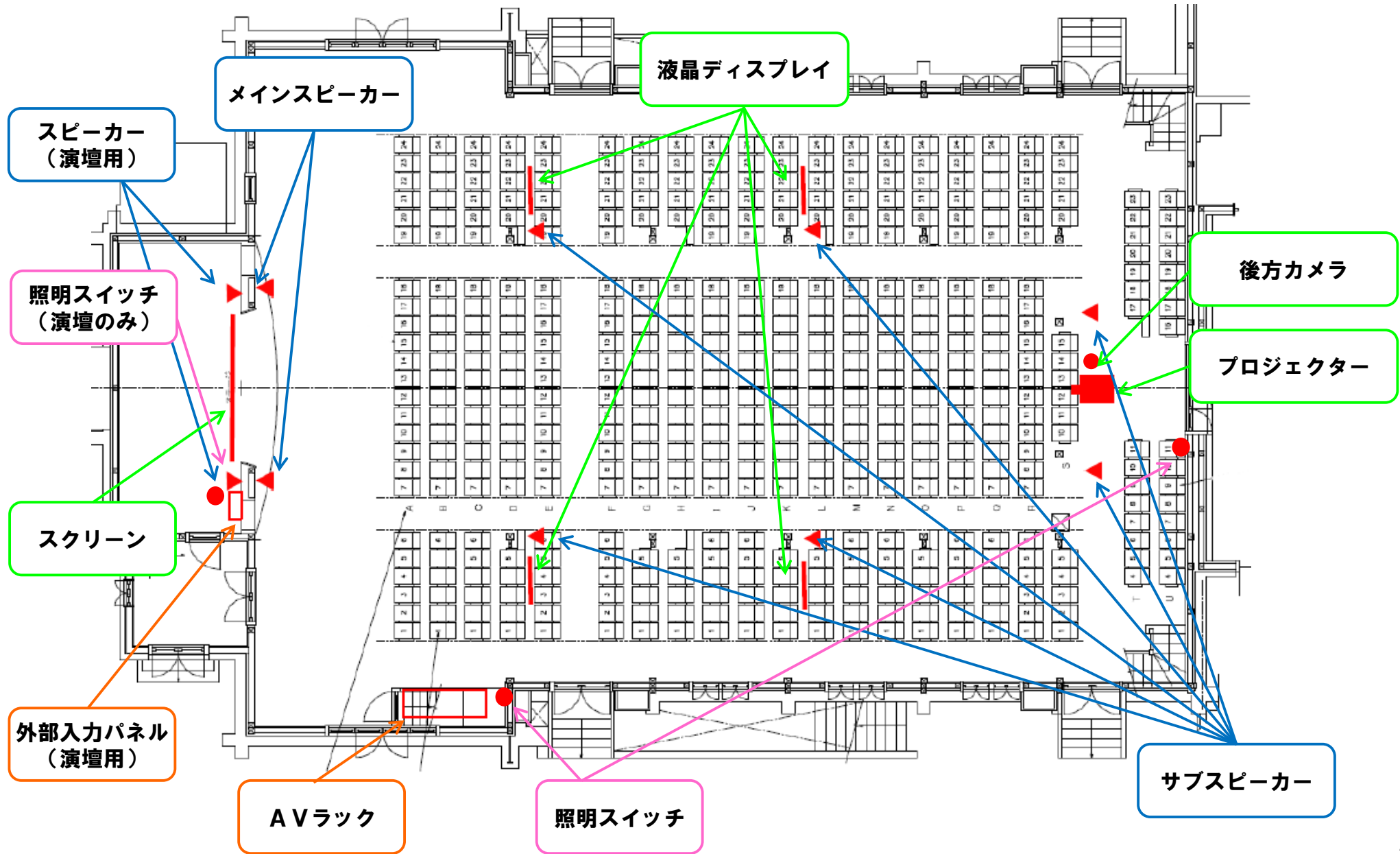
成瀬記念講堂

～機器操作マニュアル～

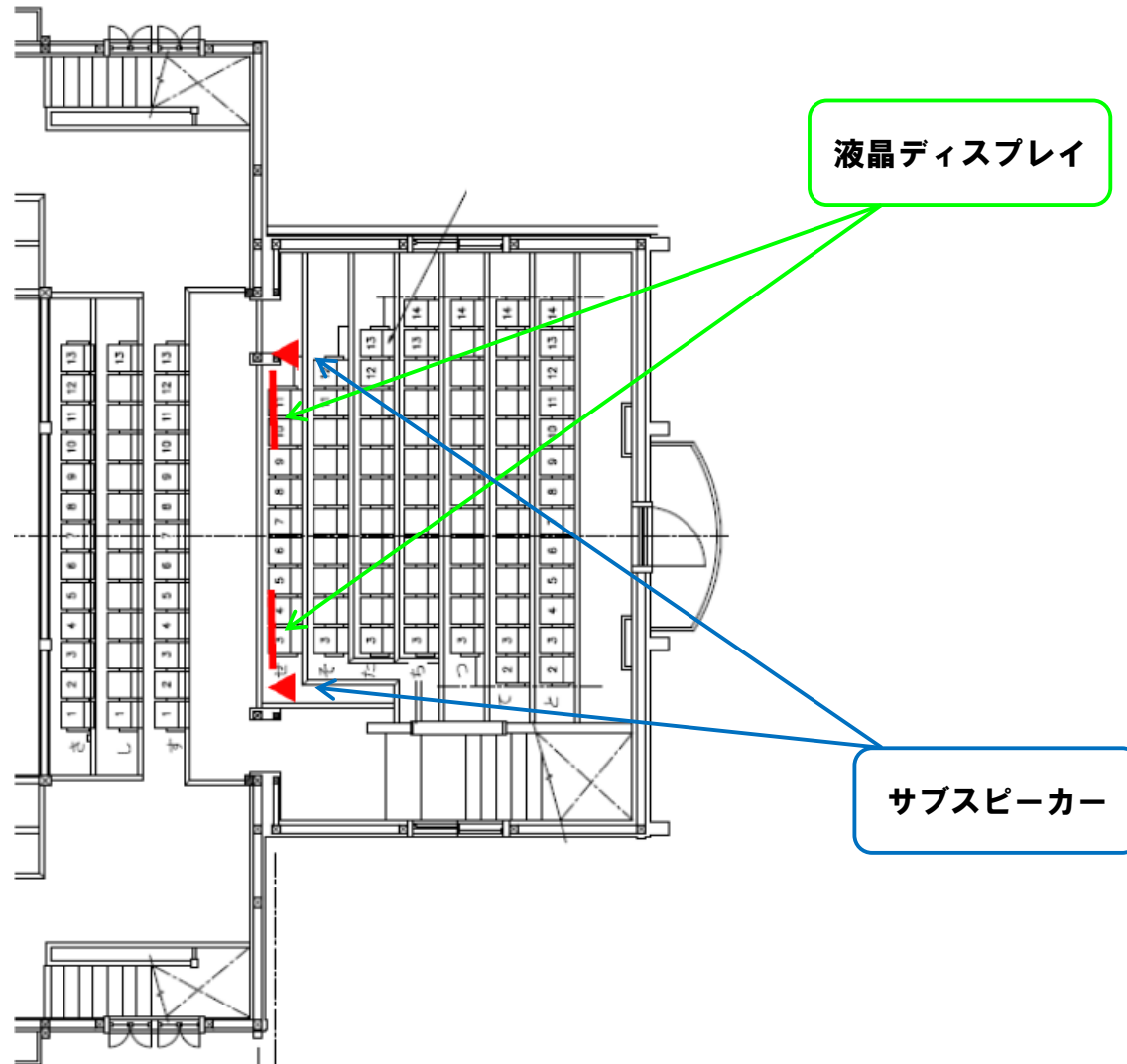
1. 機器の配置図（1F, 2F） 2
2. AVラック,外部入力パネル実装図 4
3. マイクの使用方法 8
4. 映像をスクリーン,ディスプレイに映す 10
 - (1)外部持込機器(PC、書画カメラ、VHSデッキ等)使用の場合
 - (2)ブルーレイ,DVD使用の場合
 - (3)後方カメラ使用の場合
5. CD/MEMORY PLAYER使用方法 14
6. 問い合わせ先

AV機器 メディアセンター（内線3169）
空調、その他設備 施設課（内線3234）

1. 機器の配置図(1F)



1. 機器の配置図(2F)



2.AVラック,外部入力パネル実装図

AVラック付近でPCや有線マイク等の機器を接続する際や映像切換の際に使用します。
最大でHDMI * 1系統、RGB * 1系統、RCA * 1系統を接続可能です。

AVラック

TV会議システム
他教室への映像配信に使用

ブルーレイプレイヤー
ブルーレイ,DVD,CDの再生に使用

外部入力パネル
各機器の接続に使用
※詳細は5頁参照

無線マイク*4本

プレビューモニター
各映像の確認に使用

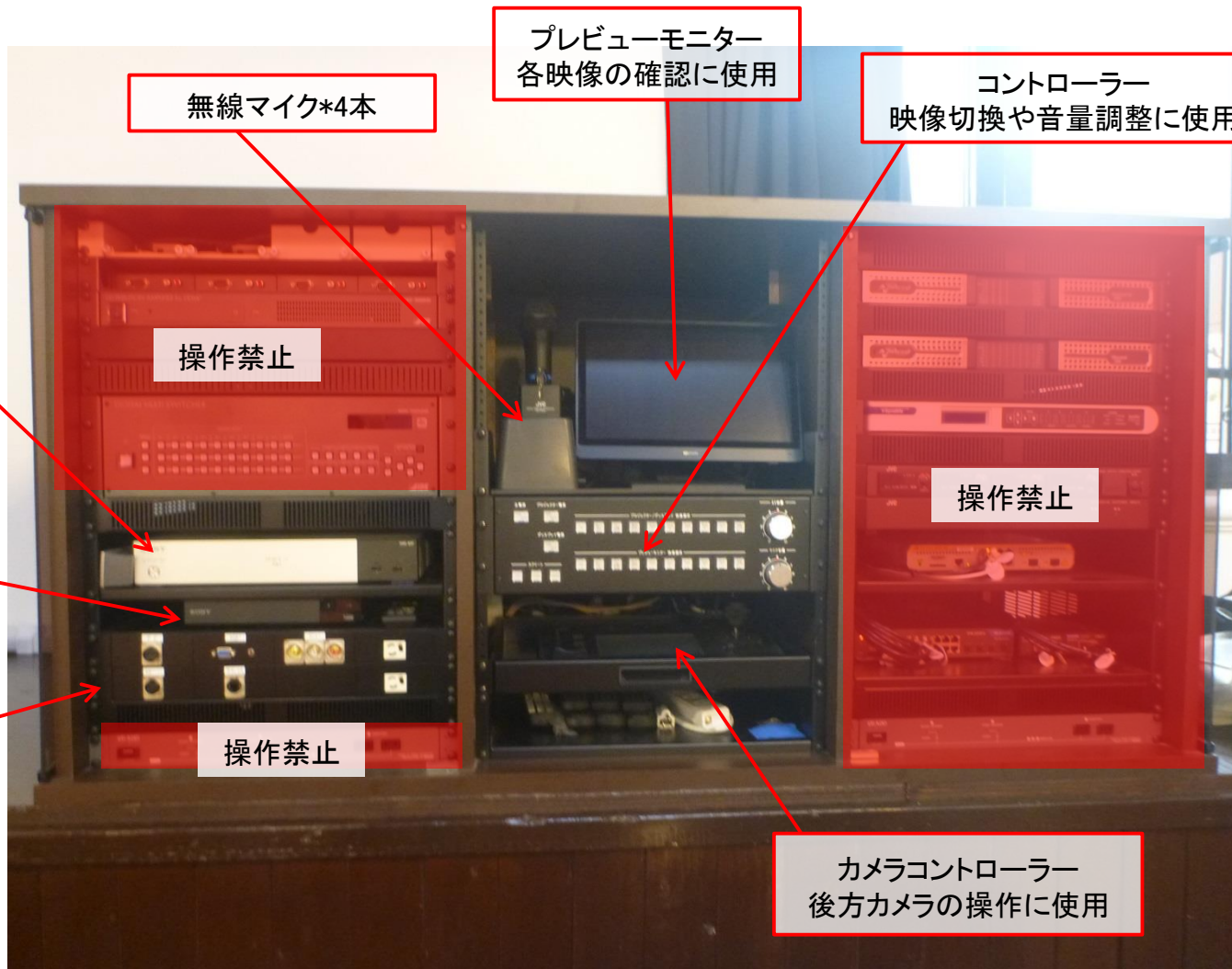
コントローラー
映像切換や音量調整に使用

操作禁止

操作禁止

操作禁止

カメラコントローラー
後方カメラの操作に使用



2.外部入力パネル(AVラック)実装図

AVラック付近でPCや有線マイク等の機器を接続する際に使用します。
最大でHDMI * 1系統、RGB * 1系統、RCA * 1系統を接続可能です。

AVラックー外部入力パネル

HDMIケーブルをPC等に接続して使用
コントローラーの選択ソース→『PC』

RGBケーブルと音声ケーブルを
PC等に接続して使用
コントローラーの選択ソース→『RGB1』

RCAケーブルをVHSデッキ等に接続して使用
コントローラーの選択ソース→『RCA1』



有線マイクケーブルを接続して使用

LANケーブルをPC等に接続して使用
学内LANに接続

電源ケーブルを各機器に接続して使用

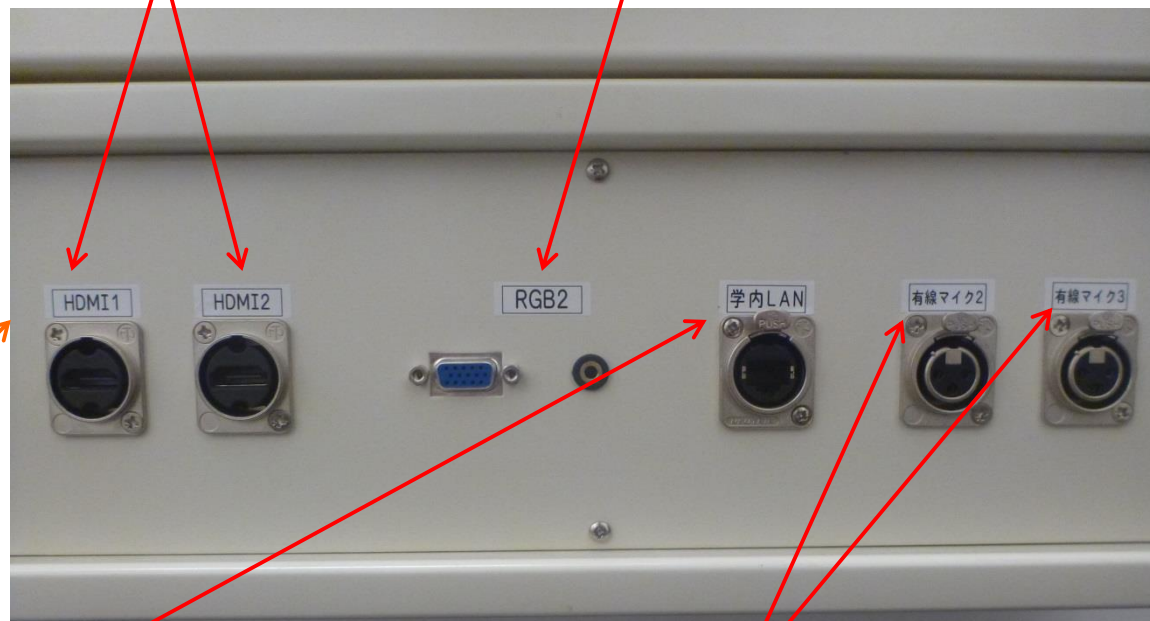
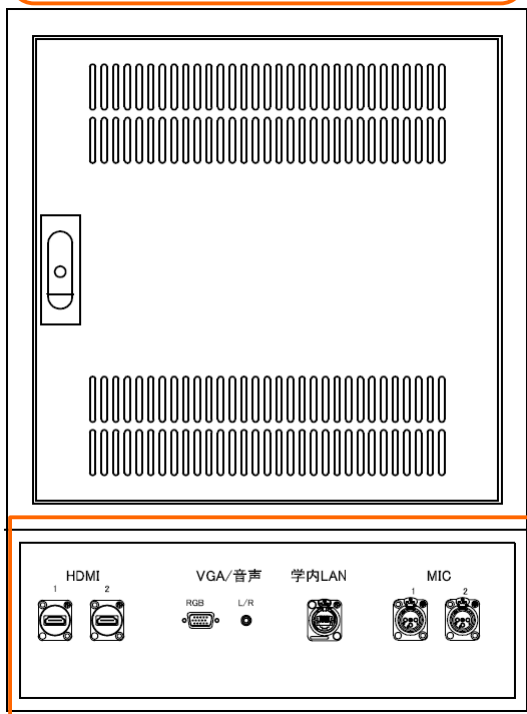
2.外部入力パネル(演壇用)実装図

演壇上でPCや有線マイク等の機器を接続する際に使用します。
最大でHDMI * 2系統、RGB * 1系統を接続可能ですが、映像切換はAVラックにて操作します。

外部入力パネル (演壇用)

HDMIケーブルをPC等に接続して使用
コントローラーの選択ソース→『HDMI1』『HDMI2』

RGBケーブルと音声ケーブルを
PC等に接続して使用
コントローラーの選択ソース→『RGB2』



LANケーブルをPC等に接続して使用
学内LANに接続

有線マイクケーブルを接続して使用

2.コントローラー機能説明

各ボタンを操作することで電源や映像選択の操作が可能です。

[主電源]

AV機器システムの電源をON/OFF

[プロジェクター電源]

プロジェクターの電源をON/OFF

[ディスプレイ電源]

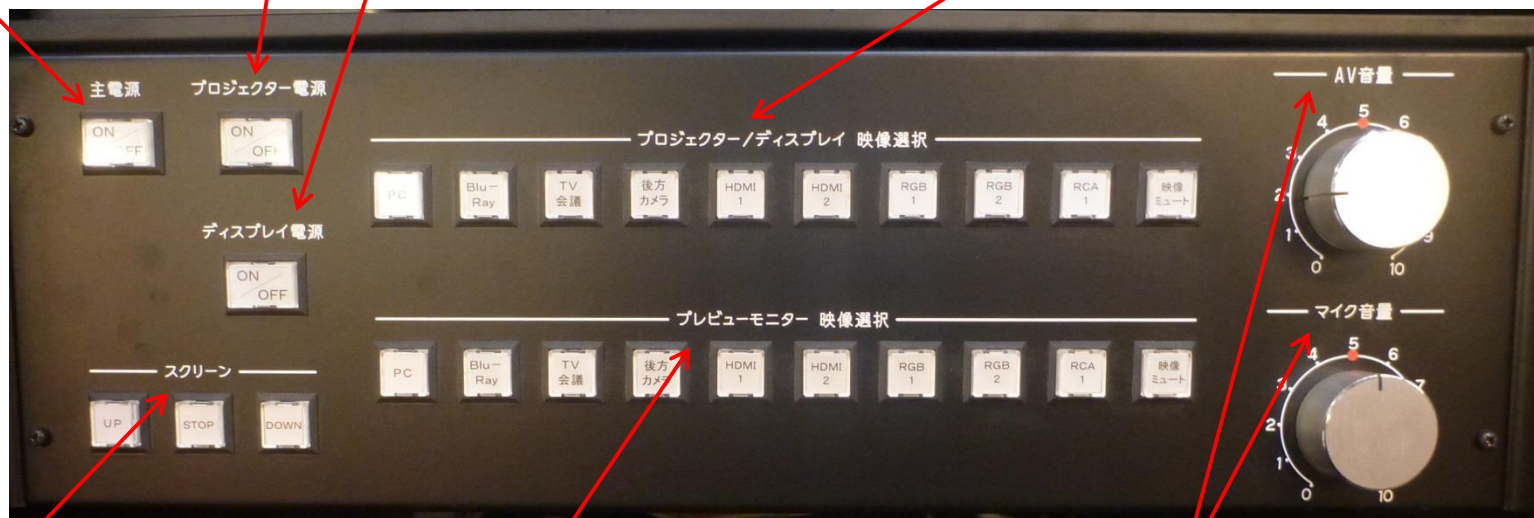
ディスプレイ*6枚の電源をON/OFF

[プロジェクター／ディスプレイ映像選択]

プロジェクター、ディスプレイに投影する映像を選択します。

音源も映像選択したものが出力されます。

※『映像ミュート』を選択した場合、映像のみ不出力となります。



[スクリーン]

スクリーンを昇／停／降 します。
※プロジェクター電源とも連動しており、
自動にて昇降します。

[プレビューモニター映像選択]

AVラック内のプレビューモニターに投影する映像を選択します。

[AV音量／マイク音量]

選択した映像の音量、マイクの音量を調整します。

3. グースネックマイク、有線マイクの使用手法

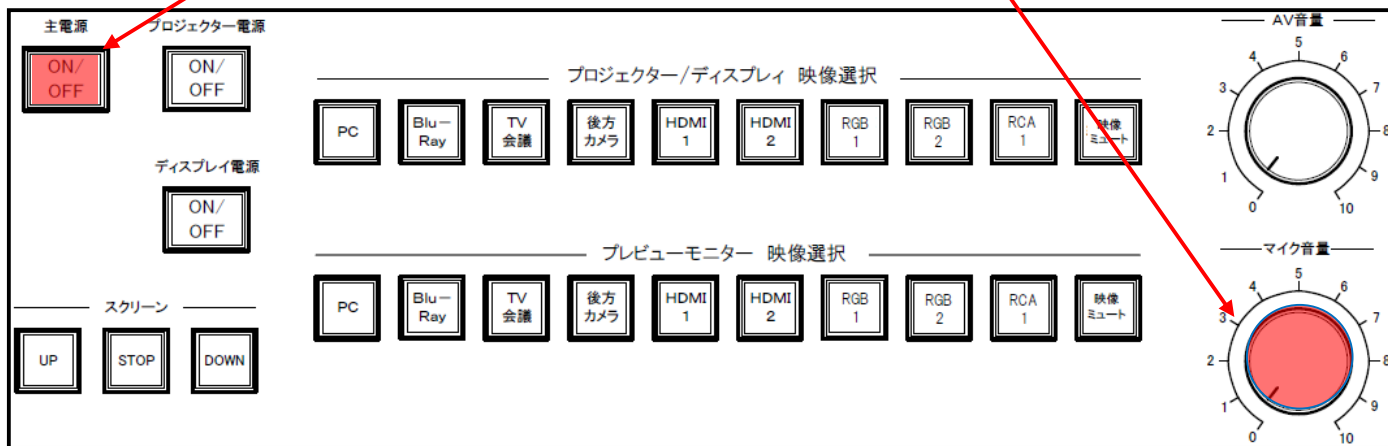
(マイクの数と保管場所)

グースネックマイク1本と有線マイク 3本と無線マイク 4本(ハンドマイク 3本とピンマイク1個)を用意しています。有線マイクは演壇上の外部入力パネルにて2本、AVラックの外部入力パネルにて1本を使用可能です。有線マイクとスタンドは演壇脇の控室に、グースネックマイク、無線マイクはAVラック横に置いてあります。

(グースネックマイク、有線マイクの使用手法)

1) [主電源]ボタンを押した後、マイクの電源を入れる。

2) [マイク音量]を調整する。



【マイク電源位置】



グースネックマイク電源ボタン



3) 外部入力パネルへケーブルを挿す。

3. 無線マイクの使用手法

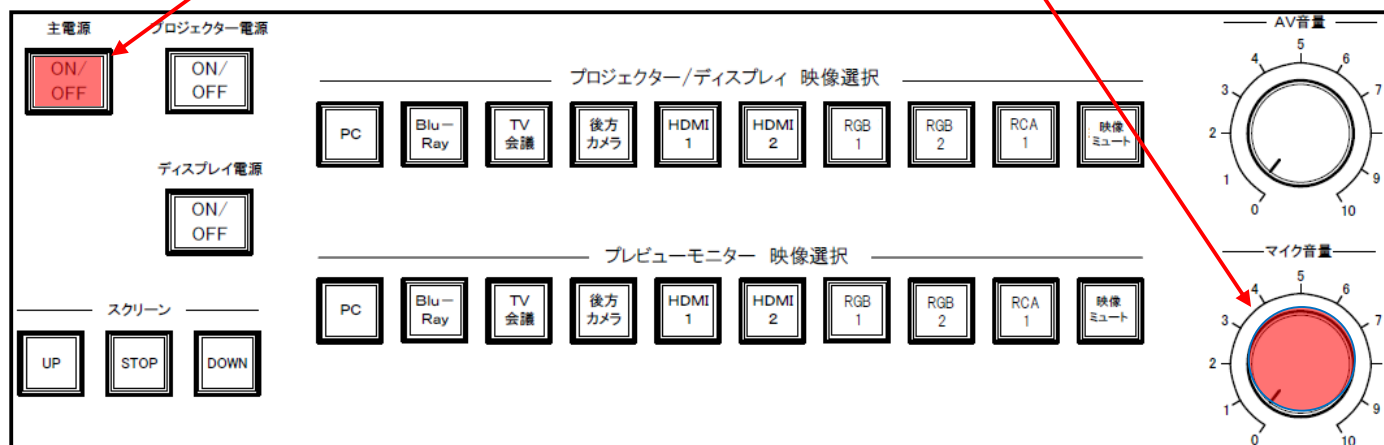
(マイクの数と保管場所)

有線マイク 3本と無線マイク 4本(ハンドマイク 3本とピンマイク1個)を用意しています。
有線マイクは演壇上の外部入力パネルにて2本、AVラックの外部入力パネルにて1本を使用可能です。
有線マイクとスタンドは演壇脇の控室に、無線マイクはAVラック内に設置してあります。

(無線マイクの使用手法)

1) [主電源]ボタンを押した後、マイクの電源を入れる。

2) [マイク音量]を調整する。



【無線マイク電源位置】



4.映像をスクリーン,ディスプレイに映す

(1) 外部持込機器(PC、書画カメラ、VHSデッキ等)使用の場合

- ①コントローラーの[主電源]ボタンを押してください。
 - ②[プロジェクター電源]ボタン、[ディスプレイ電源]ボタンを押してください。
※スクリーンは自動にて下降します。
 - ③演壇上の外部入力パネル、又はAVラックの外部入力パネルにケーブルを接続して下さい。
 - ④ケーブルを接続した端子に表示されている名前の[映像選択]ボタンを押してください。
※5頁、6頁を参照。
 - ⑤[AV音量]ダイヤルにて音量を調整してください。
- ※終了後はケーブルを抜き、[主電源]ボタンを押してOFFにしてください。自動にて各機器の電源がOFFとなり、スクリーンが格納されます。

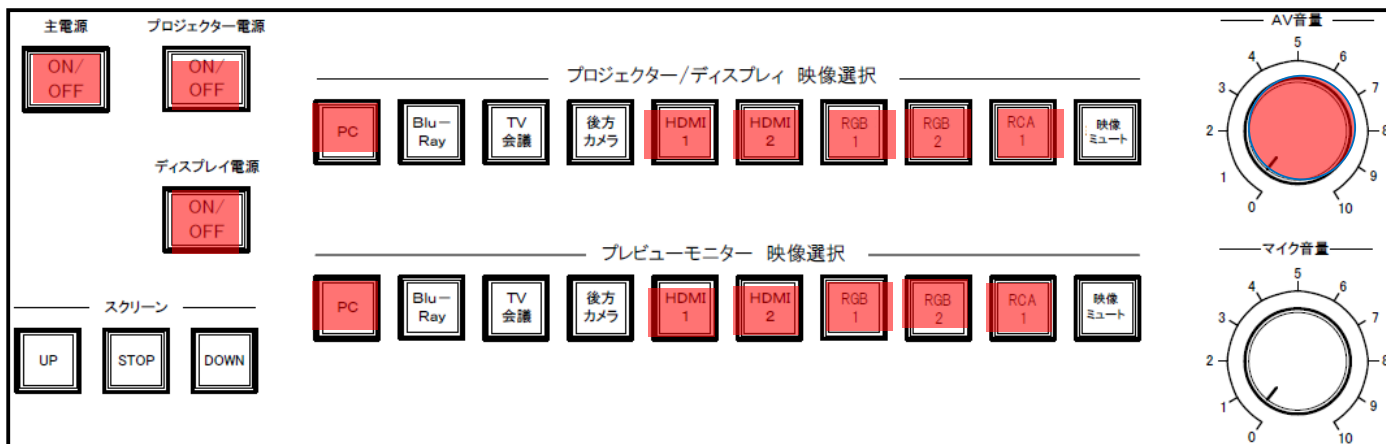
①

②

④

⑤

③



外部入力パネル(AVラック)



外部入力パネル(演壇)



各種ケーブルはAVラック横のケースに収納しております。

4.映像をスクリーン,ディスプレイに映す

(2) ブルーレイ、DVD使用の場合

- ①コントローラーの[主電源]ボタンを押してください。
 - ②[プロジェクター電源]ボタン、[ディスプレイ電源]ボタンを押してください。
※スクリーンは自動にて下降します。
 - ③ブルーレイプレイヤーにメディアを挿入してください。
 - ④[映像選択]の[Blu-Ray]ボタンを押してください。
 - ⑤プレイヤーのリモコンにて操作してください。
 - ⑥[AV音量]ダイヤルにて音量を調整してください。
- ※終了後はメディアを取り出し、[主電源]ボタンを押してOFFにしてください。自動にて各機器の電源がOFFとなり、スクリーンが格納されます。

①

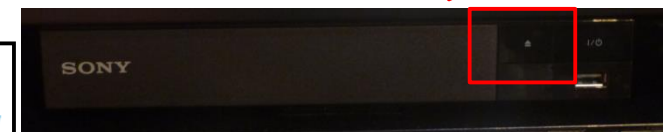
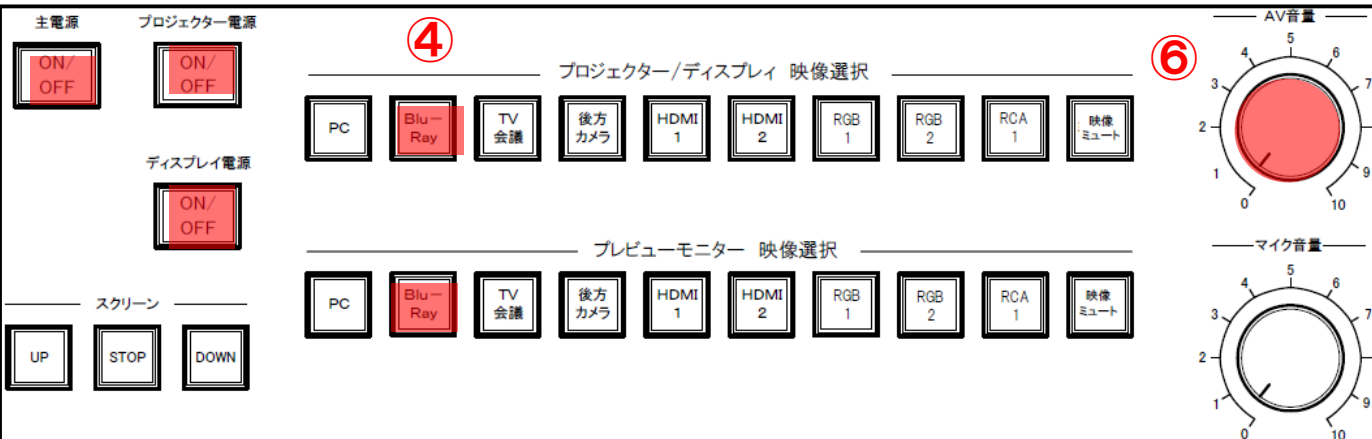
②

④

⑥

③

トレイ開閉ボタン



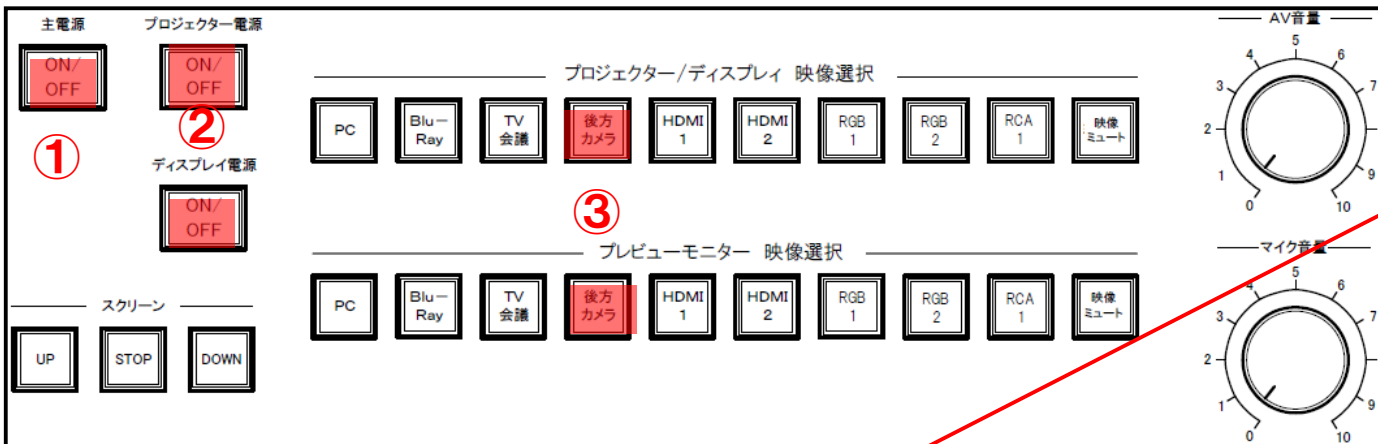
⑤再生等操作ボタン



4.映像をスクリーン,ディスプレイに映す

(3) 後方カメラ使用の場合

- ①コントローラーの[主電源]ボタンを押してください。
- ②[プロジェクター電源]ボタン、[ディスプレイ電源]ボタンを押してください。
※スクリーンを使用しない場合は、[プロジェクター電源]ボタンの操作は不要です。
- ③[映像選択]の[後方カメラ]ボタンを押してください。
- ④プレビューモニターにて確認しながら、カメラコントローラーにて撮影位置を操作してください。
※終了後は[主電源]ボタンを押してOFFにしてください。自動にて各機器の電源がOFFとなります。



タッチパネル
予め設定されている撮影位置に
カメラを操作します。
※13頁参照

ズームレバー
拡大・縮小の操作をします。

④

コントローラーは引き出して
使用可能です。



操作レバー
カメラの向きを操作します。

オートフォーカスボタン
自動で焦点を調整します。

4.映像をスクリーン,ディスプレイに映す

(3)後方カメラ使用の場合～カメラプリセット一覧～



タッチパネルの1～7の番号を押すことで、
予め設定した撮影位置を呼び出すことが可能です。



1 全景



2 演壇



3 演壇中央



4 上手



5 下手



6 スクリーン



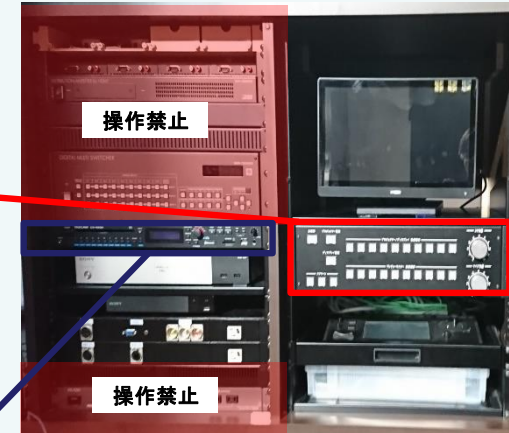
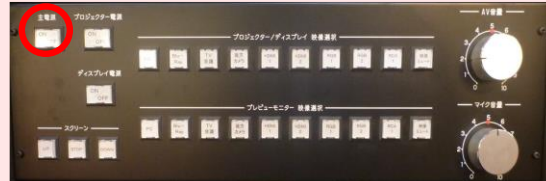
7 演者

CD/MEMORY PLAYER使用方法(CD再生)

TASCAM (player) : CD-400U

1

AVラック中央のコントローラーの「主電源」を押して電源を入れる。



2

「CD」をセットする。



3

「SOURCE」ボタンを押し、「CD」を選択する。

本体

リモコン



4

「再生」ボタンを押す。

本体

リモコン



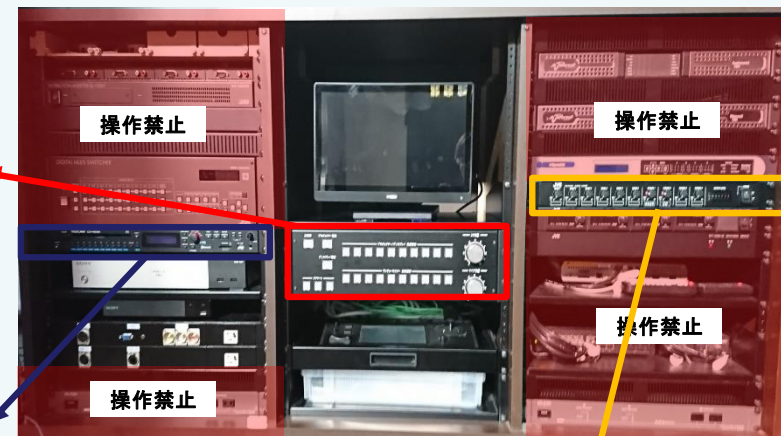
CD/MEMORY PLAYER使用方法(詳細操作等)

TASCAM (player) : CD-400U
JVC (ミキサー) : PS-M100

1

AVラック中央にある、コントローラーの「主電源」を押して電源を入れる。

- * 連動して他の機器 (TV会議・BD以外) の電源も入ります。
- ** 選択されている入力ソース音源とMixされてスピーカーから出力されます。



2

音源媒体の挿入及び接続を行う。

利用可能媒体及び入力端子 : CD、CD-R/RW、SD(HC)、USBメモリ(64GBまで)、Bluetooth、AUX

- * CD-R、CD-RWはファイナライズされていること
- ** 使用できる音声データ : MP3、AAC、WAV、WMA



AUXの場合はこの端子につなぐ。(ミニプラグ)

3

再生する音源を選択する。



SOURCEボタンを押し、再生する音源を選択する。

CD → USB → SD → Bluetooth → FM → AM → AUX

利用不可

4

③でCD、USB/SDが選択されている場合の操作。
Bluetooth(AVRCP非対応)、AUXは個別の機器側で操作。



停止・再生・一時停止 押している間早送り(戻し)

- ・曲の選択(ダイヤル)決定(押す)
- ・ソースがSD/USBでフォルダ分けされている場合はフォルダ移動。

5

ボリュームの調整について

全体のボリュームについては、①のコントローラーの「AV音量」で操作しますが、CD、USB/SDについては個別で操作が可能です。

プロジェクター/天吊ディスプレイで選択したソースのボリュームを調整



CD/MEMORY PLAYERで再生のボリュームを調整

* 選択されている入力ソースとMixされるので注意が必要です。例として、映像ソースとしてDVD等を再生中でも、CDを流すことが出来ます。(音声と同時に音が出ます。)

** Bluetooth、AUX接続で、音声が小さくなる場合は接続している機器側の音量を上げてください。

・リモコンでの操作、Bluetoothのペアリングについては2枚目を参照

CD/MEMORY PLAYER使用方法 (詳細操作等)

TASCAM (player) : CD-400U
リモコン: RC-CD400

1

*本体電源は連動して点きます。消されている場合は「POWER」を押してください。(電源は切らない)



▲ Discの取出しボタン

2

再生する音源を選択する。



SOURCEボタンを押し、再生する音源を選択する。

CD→USB→SD→Bluetooth→FM→AM→AUX

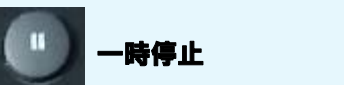
3



停止



再生



一時停止

ボタンを押している間だけ早戻し/早送りサーチを行う

*ソースがCD/USB/SDで再生対象が「全て」の時
<>でトラックスキップ
*ソースがUSB/SDで「フォルダ」の時
方向キーでフォルダ移動
Enterキーで確定

* Bluetooth(AVRCP非対応)、AUXの場合は、個別の機器側で操作

4

*ソースがCD/USB/SDで再生対象が「全て」の時
トラック番号を直接指定する

オーディオCD (最大2桁)
例: ドラック1の時「0→1」の後「再生」を押す
データCD (最大3桁)
例: ドラック1の時「0→0→1」の後「再生」を押す

リ

リピート再生を行う。

再生モードの設定	内容
連続再生モード	設定した再生対象の再生範囲内を繰り返し再生
シングル再生モード	現在のトラックを繰り返し再生

リモコンのREPEATボタンを押して、リピート機能をオン/オフに設定します。
リピート機能がオンのとき、ホーム画面に「REP」を表示します。

```
CD  REP  PLAY
      01  00:01
```

[再生モード・連続再生モード時の表示]

```
CD  1REP  PLAY
      01  00:01
```

[再生モード・シングル再生モード時の表示]

*リピート再生機能は電源をオフにしても保持されるので、使用後に必ず「REPEAT」ボタンを再度押して解除してください。

B

Bluetooth機器とのペアリングを行う。

1. BLUETOOTH をカレントソースに選択します。
[再生するソースを選択する] ②
2. 本体のBACK [PAIRING] ボタンまたはリモコンのDISPLAY/RDS/INFO [PAIRING] ボタンを押し続けます。
メッセージ「PAIRING」が点滅表示されます。

```
BLUETOOTH
PAIRING
```

3. Bluetooth機器をBluetooth通信状態に設定します。
4. Bluetooth機器から、本機 (CD-400U) を選択します。
ペアリングに成功すると、ホーム画面に「Connected」と表示し、その機器と接続します。

```
BLUETOOTH
Connected
```

*ペアリング解除は「PAIRING」ボタンを押し「Disconnect?」の表示の後、本体のEnterかリモコンのCLEARを押す。また、個人の機器からもペアリング機器の履歴を削除してください。(誤接続防止の為)

